第170回 教育研究評議会 議事録

日 時 平成31年 3月13日(水) 13時30分~15時20分 場 所 事務局第一会議室(本部棟3階)

出席者

学長(議長) 長谷部

理事 大門、森下、中村、箱田

副学長
髙木

教育学部池田、白取経済学部永井、佐藤経営学部原、谷地理工学部羽深

都市科学部 齊藤

国際社会科学研究院 泉、荒木、奥村工学研究院 渡邉、新井、眞田

環境情報研究院 根上、大谷 都市イノベーション研究院 佐土原 附属図書館長 志田

議事

I 議事録確認

第169回議事録(案)(對1)について、原案のとおり確認した。

Ⅱ 報告事項

1. 議長報告

議長から、次の事項について報告があった。

- (1) 2018年度横浜国立大学 地域連携シンポジウム 出席・挨拶 (2/15)
- (2) ユニセフ協会理事会 出席 (2/20)
- (3) 富丘会 講演交流会 出席 (2/20)
- (4) 第4回 YNUささらサロン開催「防災」 出席 (2/22)
- (5) 横浜国立大学と横浜市立大学との連携協定調印式 挙行 (2/27)
- (6) 常盤台 I R 記念式典・内覧会 出席 (2/28)
- (7) 大学基準協会 第6回学長セミナー 出席 (3/3)
- (8) 第10回神奈川TOPセミナー 出席 (3/4)
- (9) 永年勤続者·永年勤続退職者表彰式 挙行 (3/5)
- (10) 防災・防火訓練 出席・挨拶 (3/5)
- (11) YNU防災・震災シンポジウム 出席・挨拶 (3/5)
- (12) 第12回医療 I C T シンポジウム 出席・挨拶 (3/8)
- (13) YNU校友会理事会・評議員会 出席 (3/8)
- (14) 神奈川SGGクラブ 設立30周年記念式典 出席・挨拶 (3/9)
- (15) 横浜ビジネスグランプリ2019 『最優秀賞』受賞 環境情報研究院「小倉 里江子 産学官連携研究員(平塚研究室)」
- (16) 2019年 『日本学士院賞』 受賞 先端科学高等研究院「藤野 陽三 上席特別教授」
- (17) 平成31年度学長補佐の任命(10名)
 - ・教育学部 河潟 俊吾 教授(教育、人権・ダイバーシティ) 親
 - ・国際社会科学研究院 中村 博之 教授(校友会、卒業生・基金室) 織
 - ·国際社会科学研究院 椛島 洋美 教授(国際) 飄
 - ·国際社会科学研究院 佐藤 清隆 教授(大学 IR) 飄

・国際社会科学研究院 常岡 史子 教授(人権・ダイバーシティ) 新規

・工学研究院・工学研究院渡邉 正義 教授(研究) 親・工学研究院が村 泰司 教授(評価) 総

・環境情報研究院 四方 順司 教授(情報・CISO) 続

- ・都市イノベーション研究院 高見沢 実 教授(地域・広報) 総
- · 先端科学高等研究院 三宅 淳巳 教授 (IAS) 飄
- (18) 平成31年度学長特任補佐の任命(5名)
 - ・成長戦略研究センター 梅野 匡俊 教授(産官学連携) 糕
 - ・国際戦略推進機構 徐 浩源 教授(国際 中国・アジア) 継続
 - ・都市イノベーション研究院 藤掛 洋子 教授(国際 中南米) 総続
 - ・国際社会科学研究院 アレクサンダー・マッコーレー 教授(国際 ダイバーシティ) 飄
 - ·国際社会科学研究院 森田 洋 教授(広報) 糕
- (19) 情報基盤センター長の任命 〈任期:2019.4.1~2021.3.31〉
 - ·環境情報研究院 田村 直良 教授 (飄)
- (20) 次期理事、事務局長等予定者について
 - ·事務局長 松川 誠司 氏 (現:放送大学学園事務局長)
 - ・理事(産学官連携担当) 蛯名 喜代作 氏<非常勤>

(現:株式会社ケイエスピー 常務取締役)

- ・理事(総務担当)は、理事(総務・財務施設担当)に変更
- (21) 学長選考会議について
- 2. 委員会報告

議長(学長)から、委員会の開催状況について、資料2のとおりである旨報告があった。

3. 部局等報告

各部局等から、次の事項について報告があった。

- (1) 理事(総務担当)
 - 教員の業績評価について(約3-1-1~3-1-2)
 - ・労働契約法改正に伴う本学の対応について(資料3-2)
 - ・ダイバーシティ連携協議会 キックオフシンポジウム 「ダイバーシティで輝くライフイノベーションの可能性」(資料3-3)
 - ・基金について (資料3-4)
 - ①古本募金について
 - ②給与控除寄附について
 - ③ときわの森プロジェクトについて
 - ・文科省「人事給与マネジメント改革のガイドライン」について

(資料 $3-5-1 \sim 3-5-4$)

- (2) 理事(研究・評価担当)
 - ・平成30年度優秀研究者賞受賞者の決定について (資料3-6)
- (3) 理事(国際・地域・広報担当)
 - ・大学間学術交流協定の締結・更新等について(資料3-7、3-7-1~3-7-7、参考資料)
 - ①バンドン工科大学 (インドネシア) との大学間学術交流協定・学生交流覚書の更新
 - ②世宗大学校(韓国) との大学間学術交流協定・学生交流覚書の締結
 - ③タマサート大学 (タイ) との大学間学術交流協定・学生交流覚書の更新
 - ④四川大学(中国)との大学間学術交流協定・学生交流覚書の締結
 - ⑤フィリピン大学(フィリピン) との大学間学術交流協定・学生交流覚書の更新
 - ⑥シドニー工科大学 (オーストラリア) との大学間学術交流協定・学生交流覚書の更新 (協定書一部修正)
 - ⑦ウーロンゴン大学 (オーストラリア) との大学間学術交流協定・学生交流覚書の締結
 - ⑧大学間・部局間協定締結・更新一覧
 - ・横浜国立大学、フェリス女学院、横浜市、相鉄ホールディングス株式会社の 相鉄いずみ野線沿線における四者連携覚書の更新について(削3-8)
 - ・新駅(羽沢横浜国大)開設に伴う通学ルート等について(約3-9)

- (4) 副学長(教育担当)
 - 教員の免許状授与の所要資格を得させるための再課程認定について(ロ頭)
 - ・平成31年度一般入試について(口頭)
 - ・平成31年度卓越大学院プログラムの公募について(口頭)
- (5) 教育学部長
 - ・学生の懲戒処分について(口頭)
 - ・次期教育学部評議員候補者の選出について(泉真由子 教授(艇))(口頭)
- (6) 理工学部長
 - ・次期理工学部評議員候補者の選出について(多々見純一 教授(紙))(口頭)
- (5) 都市科学部長
 - ・次期都市科学部評議員候補者の選出について (勝地弘 教授(紙)) (口頭)
- (6) 工学研究院長
 - ・次期工学研究院評議員候補者の選出について(丸尾昭二 教授(艇))(口頭)
- (7) 環境情報研究院長
 - ・次期環境情報研究院評議員候補者の選出について(長尾智晴 教授(紙))(口頭)
- (8) 都市イノベーション研究院長
 - ・次期都市イノベーション研究院評議員候補者の選出について (齊藤麻人 教授(紙)、彦江智弘 教授(紙))(口頭)
 - YNU防災・減災シンポジウムの開催報告について(口頭)
- ◎以上の報告後、委員から、部局等報告(1)について意見・確認等があった。
 - ・部局等報告(1)基金について「ときわの森プロジェクト」(ロ頭) プレート設置期間が5年間ということであるが、生涯にできないかの意見があり、 理事(総務担当)から、プレートの破損や紛失があること、管理の関係から補修の 保証期間として設置した旨の発言があった。
- 4. その他報告
- (1)「構造改革(Ⅲ 機構とセンターの整理、統合による機能強化と業務効率化)」について

前回(2/14)教育研究評議会での報告後、2箇所訂正する必要が出来てきたので、関係する箇所のみ報告する。訂正箇所は資料 3-1 0 「Ⅲ 機構とセンターの整理、統合による機能強化と業務効率化」で、①理事(総務担当)から、「1 全学教育研究施設」の機器分析評価センターが2019年から2020年に訂正したこと。②理事(研究・評価担当)から、「3. [2]. 2. 機器分析評価センター → 研究推進機構の内部センター予定」の(1)課題、(2)課題解決策を訂正したことの報告があった。

(2)「共通指標の今後の改善補作」について

前回(2/14)教育研究評議会において評議員から意見があったことについて、副学長(教育担当)から、国立大学協会や文部科学省等から共通指標に関しての調査があったこと、学内においては、懇談会等を通じて教育や研究に関しての取り組みや指標の分析を行ってきていることから、本学として十分対応できる部分等を整理し、新年度の早い時期にお示しし、協力いただける体制を作っていきたい旨の報告があった。

Ⅲ 人事事項報告

議長(学長)から、資料3-11に基づき、大学院工学研究院、大学院都市イノベーション研究院の人事事項について報告があった。

Ⅳ 審議事項

1.「教養教育主事候補者」について

議長(学長)から、教養教育主事候補者について、理工学部から推薦のあった「関 谷隆夫教授」としたい旨の提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

2.「機構とセンターの整理、統合に伴う組織運営規則等の一部改正」について

理事(総務担当)から、資料 4 及び $4-1\sim 4-9$ に基づき、機構・センターの整理・統合により、全学センターの一部が機構等内センターとなったことに伴い、必要な改正を行うものである旨の説明があり、審議の結果、経営協議会に付議することが承認された。

3.「機構とセンターの整理、統合に伴う配置数(定員)等」について

理事(総務担当)から、資料5に基づき、機構とセンターの整理、統合により、全 学センターの一部が機構等内センターとなったことに伴い、①センターの配置数(定 員)及び②教員(特任教員を含む)の所属を明確にした旨の説明があり、審議の結果、 経営協議会に付議することが承認された。

4. 「平成31年度計画」について

理事(研究・評価担当)から、資料6に基づき、平成31年度計画(第2次案)について、全学に意見照会し修正した計画案であること、最終確認の上、3月末までに文部科学省に提出する予定である旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5.「大学間学術交流協定の更新」について

理事(国際・地域・広報担当)から、資料7及び7-1~7-2、参考資料に基づき、①グラナダ大学(スペイン)との大学間学術交流協定・学生交流覚書更新、②オスナブリュック大学(ドイツ)との大学間学術交流協定・学生交流覚書更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6.「平成30年度学生表彰(課外活動団体関係)(学業成績、学術研究活動等)」について

副学長(教育担当)から、資料8-1~8-2に基づき、「課外活動団体関係」「学業成績、学術研究活動等」について説明があり、質疑応答後、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、委員からの意見等は次のとおり。

・学業成績、学術研究活動に関して、推薦理由を統一した方が良いのではないかの 意見があり、副学長(教育担当)から、次年度以降は、書式等には注意したい旨 の発言があった。

7. 「平成33年度入学者選抜」について

副学長(教育担当)から、資料9及び9-1~9-5に基づき、大学入学者選抜実施要項の見直し及び大学入学共通テスト等の実施に伴う、2021年4月入学のための2021年度横浜国立大学入学者選抜方法の変更等について説明があり、質疑応答後、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、委員からの意見等は次のとおり。

- ・経済学部委員から、経済学科と経営学科で同じプログラムの「Global Business and Economics 教育プログラム」が、提出後、大学全体改組の関係から入試方法に大きな変更が起こる可能性がある旨の発言があった。
- ・都市科学部委員から、都市社会共生学科後期日程入試の面接試験に関して、記述 内容が違う旨の意見があり、副学長(教育担当)から、大至急確認の上、連絡願 いたい旨の発言があった。
- 8.「名誉教授称号授与の推薦」について

学長から、名誉教授の選考は、名誉教授の称号授与規則に則り、教育研究評議会が行うものである旨の説明後、名誉教授称号授与予定者を推薦した部局長等から、資料10(回収資料:10-1~10-5)に基づき、被推薦者の説明があり、審議の結果、原案のとおり推薦者15名の名誉教授称号授与が承認された。

IV その他事項

1.「平成31年度学長戦略経費の配分方針(案)」について

議長(学長)から、意見を徴する旨説明後、資料11に基づき、基本方針のほか、 平成31年度より大学に対する評価方法が、新たに共通指標に基づく評価が導入され たことに伴い、本経費においても、共通指標の評価結果を向上させるための視点を導 入するなど、大学全体で、戦略的な共通指標の評価結果の改善を図ることとすること、 また、全ての採択事業について、事業完了後の実施報告書を基に評価を行い、次年度 の事業継続等の判断の参考にすることの説明後、1. 学長裁量経費【非申請型】、2. 学内重点化競争経費【申請型】、別表(申請件数の枠)について説明があり、審議の 結果、質疑応答後、原案のとおり、役員会に付議することとした。

なお、委員からの意見等は次のとおり。

- ・報告書の評価結果がどの時点で公開されるのか確認があり、学長から、スケジュールが決定次第、お知らせする旨の発言があった。
- ・(2) 教育・研究等活性化促進支援経費に関して、非常勤講師の削減状況に対する区分と計算方法について教えてほしい旨の確認があり、学長から、検討後にお知らせする旨の発言があった。
- 2.「経営協議会の学外委員候補者」について

議長(学長)から、経営協議会の学外委員は教育研究評議会の意見を聴いて学長が任命するものと規定されている旨の説明後、資料12-1~12-2に基づき、平成31年度の経営協議会学外委員候補者について説明があり、意見を徴した結果、原案のとおり了承された。

3.「平成31年度大学運営会議等開催日程」について 議長(学長)から、資料13に基づき、平成31年度大学運営会議等開催日程について説明があった。

4. その他

今年度で任期満了となる評議員・役員の方、定年となる幹部職員、異動される幹部職員の方からの退任に伴うご挨拶があった。

以 上